

## 出張調査報告書

作成者 西 藤 彰 子

日時：平成30年5月14日～5月18日

視察先：大津市 全国市町村国際文化研修所 JIAM

【JIAM 市町村議員新人議員研修 5 日間コース】

### ・決算カードについて

決算カードは各年度に実施した地方財政状況調査の集計結果に基づき、各都道府県・市町村ごとの普通会計歳入・歳出決算総額、各種財政指標等の状況について、各団体ごとに1枚のカードに取りまとめたもの。

今後の決算、予算の審議の時に参考にしたいと思います。

### ・政策法務について

○政策法務とは、地方分権一括法（平成11年7月16日法律第87号）により、【機関委任事務】が廃止され、それらの事務のうち、国の直接執行事務又は事務自体が廃止されたもの以外の事務は、【自治事務】と法廷受託事務に再編成された。

○現在、第2次地方分権が進行中であり、主に義務付け・枠付のみの見直しと【条例制定権の拡大】のために、多くの法律に関して改正が行われている。

### ・「地方議員と政策法務」

「条例制定の演習・意見交換」をグループで行い、理想とする議会基本条例の骨子を作る為にディスカッションをし、各班の発表を行った。

常に市民に説明責任を果たす為に、住民やNPO等との意見交換、議会報告会、日祝夜間の議会開催、委員会中継等を開催して、情報公開に努めるべきではないか。

全国で約4割の自治体で、制定されている。

尼崎市は平成28年12月に議会基本条例が制定された。

議会ごとに違うと知り、尼崎市が進んでいる点と遅れている点があると分かる。

議員の活動を知ってもらい、住民の為に見える形にする為に、議会改革を進めなければならないのではないかな等の意見があり、今後参考にしたいと思います。

### ・「地方議会と自治体財政」

人口が1.6万人から5.2万の町市議会議員の方々と意見交換を行い、住民目線で、議会の透明化、開かれた議会にするべきと意見が出た。

宮城県白石市の山田裕一市長の「分権時代の地方議員に期待されていること」の講義。

山田市長は、白石市議会議員3期10年を経て、白石市長に就任。

3期の白石市議の経験（議会改革や政策提案などを手掛けられた）を経て現在に至られており、その経験から、市長の立場となられた今でも、地方自治における地方議会の重要性について、「分権時代の地方議員に期待されていること」

<政治家にとって必要なこと><奥州白石温麺振興条例の制定><地方議員の役割>を拝聴し、尼崎市でも政策立案や条例改正が出来るのではないかと。

住民本位の議会、議員の必要性を感じ、尼崎市議会も更に進化、改善していく必要がある。